

爺ヶ岳登山

2017.8.28 (月) 晴れ 単独行

当初は中房温泉～燕岳～大天井ヒュッテ～横通岳～常念小屋～一の沢の1泊山行予定だったが、訳ありで爺ヶ岳の日帰り登山に変更した。

自宅 5:00～5:30 扇沢P～爺ヶ岳登山口 5:45～6:55 ケルン～

9:05 種池山荘 9:40～10:30 爺ヶ岳 11:05～11:40 種池山荘～

13:30 ケルン～14:20 登山口～(入浴) 16:00 帰宅。

扇沢の駐車場は昨日は大混雑だったようだが、今朝は余裕だった。運動不足で体重が70KGオーバーが続いているし、足腰弱ってきているので、山頂往復できるか試練のスタート、県の自然保護レンジャーのパトロールを兼ねて。

爺ヶ岳登山口



久しぶりの好天続きで、爺ヶ岳日帰り組や鹿島槍ヶ岳への冷池山荘や針の木岳への新越山荘を目指す登山者が前後して「もみじ坂」を登る。昔は追い抜くのが常であったが、

最近足が弱ってきたので、端に寄って追い越してもらうことが多い。

登山道は良く整備されています



針の木雪渓と針の木岳、左は蓮華岳



種池小屋



コバイケイソウは全く花をつけていません



それでも種池山荘までコースタイムより30分早く着いた。下りは膝の関係で10分余計にかかった。柏原新道は種池山荘の手入れが良くて日本一と言える位登山道が整備されている。ただ石の部分が多いので下り時は膝に悪い。高山植物も少ないコースで水場も途中で全く無いのが欠点ではある。昔は夏山シーズン前の予行練習を兼ねて毎年このコースは歩いたが最近足が遠のいた。種池山荘手前のお花畑のコバイケイソウが全く花をつけていない。小屋番に聞いたら、何年かに一度このような現象があると言う。原因不明との事だ。毒がある植物で鹿等は食べない。猛暑の連続であったが、さすがに山は涼しい。小屋

から少し登ると針の木岳～立山～劔岳～毛勝三山～鹿島槍ヶ岳の大展望は圧巻である。北アルプスでも屈指の好展望である。振り返り振り返り眺めながら山頂に向かう。

鹿島槍ヶ岳と冷池山荘



小屋から山頂まで1時間のコースタイムが苦にならない位素晴らしい展望である。山頂でユックリ眺望を楽しんで下山する。途中で大町市立第一中学校の1

年生3クラスの学校登山とすれ違う。1泊で爺ヶ岳登山である。最近では事なかれ主義の親達や学校が多くなり、この種の行事は少なくなってきたが、伝統を守って続けて欲しい。以前は梅雨時の7月上～中旬に行われてきたが、最近では夏休み後の8月下旬が多くなってきたようだ。膝をかばいながらユックリ下山して、大町温泉郷の上原（わっぱら）の湯で汗を流して帰宅する。日帰りできて一安心である。ゴミはほとんど捨てられてなかったが、ストックの先端のゴムキャップを装着してない人が多く見かけられた。筋肉痛が心配だ。

赤沼 健治